

令和4年度（第2回）
福岡市総合図書館運営審議会

日時：令和5年3月29日（水）

14時00分～16時00分

場所：福岡市総合図書館 第1会議室

〔次第〕

1 開会

2 議事

議題 令和5年度事業計画について

3 報告事項

報告 令和5年度予算及び機構について

4 その他

5 閉会

令和5年度事業計画について

平成26年6月に策定した「福岡市総合図書館新ビジョン」の基本理念である「市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる、新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館」をめざし、魅力ある図書館づくりを推進する。

1 図書資料部門

(1) 図書資料の収集・整理・保存

総合図書館（本館）と各分館との緊密なネットワークを運営し、図書、逐次刊行物の収集の充実に努め、本館での基本資料の一元的保存を行う。

主な事業名	内 容	実施時期
資料収集の充実	公共図書館としての役割を発揮するため、図書館資料収集方針に基づき資料収集を行う。 また、子どもの読書活動を推進するため、絵本や紙芝居を含めた児童書や子育て支援に関する図書の充実に努める。	通 年

(2) 電子図書館の利用促進

令和3年3月に開館した電子図書館について、各種機能を最大限に活用して利用の促進を図る。

主な事業名	内 容	実施時期
電子図書館の利用促進	24時間365日利用可能な非来館型サービス、音声読上げ、文字拡大などの機能を最大限に生かし、普段、図書館への来館が困難な人にも、身近な課題の解決に役立て、良質で魅力がある本を提供して読書を促進する。 また、学校との連携について検討を行う。	通 年

(3) 貸出・返却サービスの充実

交通不便等の理由により来館困難な利用者へのサービスの向上を図るため、市中心部、交通結節点など市内13カ所に図書返却ポスト等による返却可能な拠点を設置するとともに、福岡県立図書館とも相互返却サービスの提供を行う。また、有料宅配サービスを実施するとともに、団体貸出先の拡充を行い、身近な場所での貸出サービスの提供を行う。

主な事業名	内 容	実施時期
貸出・返却拠点等の新設検討	図書館利用者の利便性の向上を図るため、図書の貸出・返却拠点の新設を検討する。	通 年

(4) レファレンスサービスの充実

利用者から寄せられる質問・相談に対し、一般参考、人文科学、社会科学、自然科学、国際、国連などの所蔵資料やオンラインデータベース等の電子情報を活用して、レファレンスサービスの充実を図る。

主な事業名	内 容	実施時期
レファレンス協同データベース事業におけるレファレンス事例の提供	国立国会図書館が実施する同事業を通じて、総合図書館におけるレファレンス事例の中から選択したものを一般公開する。	通 年
レファレンス情報の提供	レファレンスだよりやホームページでレファレンス事例を紹介するとともに、展示やイベント等を通じて情報提供を行う。	通 年
国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供	国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料について、総合図書館が設置する端末から閲覧することができるサービスを提供する。	通 年
ホームページによるレファレンスサービスの提供	図書館サービスの充実と利便性の向上を図るため、電子メールにより、図書・文書・映像資料に関するレファレンスサービスを提供する。 ホームページの「テーマ資料」による検索機能を活用し、テーマ毎のお勧め図書の紹介などを充実する。	通 年

(5) 情報提供の充実

本市関連部局及び国・県等関係機関と連携を図りながら、図書館資料を活用した情報提供などを行う。

主な事業名	内 容	実施時期
課題解決型支援	ビジネス支援として福岡県中小企業診断士協会と連携した「起業・経営相談会」を継続実施する。 医療情報の提供を目的に九州がんセンターなどと協力してシリーズで開催している、がんに関する講演会を継続実施する。 7月に開催される世界水泳選手権やSDGsについての情報提供として関連書籍の特集展示を行う。	[起業・経営相談会] 毎月第2・4日曜日 [講演会] 令和5年度 1～2回

(6) 読書普及活動

読書普及のため、読書活動を支援する講座や講演会等を行う。

主な事業名	内 容	実施時期
こども図書館講座	主に小学4年生以上を対象に、図書館を利用した調べ学習の方法を学ぶ等、図書館利用に関する基本的知識の習得を目指し動画「こども図書館講座」を配信する。 *こども図書館を会場に実施していた「夏休み図書館の達人講座」を、令和2年度から動画配信に変更して実施。	通 年
読書活動 ボランティア講座 ・絵本の読み聞かせコース ・ストーリーテリングコース ・スキルアップコース	地域における子どもの読書活動の支援として、地域で活動する読書ボランティアの育成と資質の向上を目指して実施する。	令和5年5月～ 令和6年2月
おはなし会	乳幼児から小学生を対象として絵本の読み聞かせや紙芝居などを行い、本への親しみと読書の楽しさを伝え、子どもが本とつながる機会を提供する。	通 年
赤ちゃん向け おはなし会	0～2歳児と保護者を対象にわらべうたや絵本の読み聞かせを行い、絵本に親しみ、お話の楽しさを知る機会を提供する。	通 年
ブックスタートの広報	乳幼児の保護者を対象にしたリーフレット「絵本ふれあいタイム」の配付及び動画「赤ちゃん絵ほんのよみきかせ」の配信などを行い、絵本の選び方や読み聞かせの楽しみ方、赤ちゃんとの遊び方などを広くお知らせし、ブックスタートへの関心を高め、赤ちゃん絵本を開くきっかけづくりを進める。	通 年
大人向けイベント	成人を対象とした読書会や教養講座等を実施し、読書普及や図書館活用促進を図る。 (例) ツキイチ読書会、大人のための読書会「ヨロドク」、出張おはなし会、哲学カフェ、歴史講座、ビブリオバトル、読み聞かせ講座、脳トレ音楽会、がんに関する講演会など	各館での実施内容及び時期を検討中
企画展示	各部門においてテーマを設定し、テーマに沿った図書の展示やブックリストの配布などを行う。 なお、10月は図書館マンスとし、全館統一テーマを定め、各館・各部門において、サブテーマを設定し、図書の展示等を行う。	通 年

(7) 子どもへの読書普及

子ども読書活動推進計画等に基づき、子どもへの読書普及を推進する。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
読書(本)の魅力発信 「絵本月間の実施」	<p>福岡市総合図書館の本館および分館において、絵本を中心に児童図書に関する諸行事を実施し、子どもの読書に関する市民の関心と理解を深め、もって子どもの読書活動推進計画の取組みの推進を図る。</p> <p>主な展示とイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「司書が選ぶ100冊の絵本」該当本の展示 ・子ども読書フォーラムの実施 <p>*特別おはなし会や工作教室、絵本づくりなど</p>	令和5年12月
モデル児童図書 リストの配布	<p>子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安となるよう、各年齢層に応じた本を紹介したリストを毎年度発行、配布し、子どもの読書活動推進に寄与する。</p> <p>※モデル児童図書リストの配付状況 令和3年度は、幼児、小学1・2年生、小学3・4年生、小学5・6年生の4区分を発行し約4,000部を配付した。</p>	令和5年4月 (令和5年3月作成)
子どもの 貸出カード作成推進	<p>授業の一環として図書館見学など様々な場面で、来館する児童・生徒のうち、図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードの事前登録を勧奨する。</p>	通 年
ヤングアダルト層 (12歳～18歳)への 働きかけの強化	<p>ヤングアダルトコーナーの設置や推薦図書に関するリストの配布などの事業を継続する。</p> <p>また、ビブリオバトル福岡県大会や高校生向け国連講演会を実施するとともに、TRPGなどのヤングアダルト向けイベントを検討する。</p> <p>さらに、電子図書館において、ヤングアダルト層に向けた電子書籍の選書、提供を行う。</p>	通 年

(8) 地域読書活動への支援

団体貸出サービスの充実を図り、公民館等の図書コーナー等の運営や環境整備への支援を推進する。

主な事業名	内 容	実施時期
団体貸出先の拡大	配本件数の増加に対応できるよう効率的な配本を行い、未登録の留守家庭子ども会及び地域文庫や、高齢者施設、病院等への団体貸出先の拡大を図るとともに、市民局と連携して公民館へのサービス周知を図る。	通 年
地域読書活動への支援	地域文庫及びボランティア希望者と、公民館等をつなぐ取り組みを行うなどボランティアの活動を支援するとともに、各公民館と連携し、スタンバード文庫の一層の活用を図る。	通 年

(9) 各種図書館間協力ネットワークの構築

福岡都市圏図書館、県内公共図書館、大学図書館、専門図書館との相互協力ネットワークの推進を図る。

主な事業名	内 容	実施時期
福岡都市圏図書館等の広域利用	日常生活圏の広域化に伴い、福岡都市圏の図書館等は、図書の貸出対象の居住者要件を、当該市町村居住者から福岡都市圏全体の居住者に拡大しており、制度を継続する。 ただし、電子図書館の利用については福岡市内に居住又は、市内へ通勤・通学している場合に限る。	通 年
福岡県図書館協会の相互貸借	相互貸借の円滑化により図書館サービスの充実を図るため、福岡県内の公共図書館、大学図書館、学校図書館、専門図書館の4団体間で実施している相互貸借を継続する。 相互貸借制度により他都市の図書館、市内の大学図書館などから取り寄せることについては、窓口やホームページで紹介を行う。	通 年
大学図書館とのネットワーク	大学図書館の資料を市民が利用できるようにするため、市内8大学と実施している相互貸借を継続する。	通 年
市関連施設の図書室の相互協力	市関連施設の図書室等との相互協力を行い、利用者サービスの向上を図る。 市議会議員等の調査・研究を支援するため実施している議会図書室への図書資料の貸出を継続する。	通 年

(10) 学校図書館支援センター

各小中学校が、学校図書館を効果的に運用できるように、学校図書館関係者を対象とし、「情報」「ひと」「もの」の3点から支援を行う。

主な事業名	内 容	実施時期
学校図書館支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報・ひと・もの」による支援を進める。 情報： ホームページ等による情報提供など ひと： 学校図書館運営に関する相談業務、計画及び要請訪問の実施など もの： 学習支援用図書の貸出、読書活動や調べ学習に関する助言など ・小学生子ども読書リーダーの育成を進める。 児童の主體的な読書活動を推進するため、動画資料「小学生読書リーダー養成講座」を作成し、配信し、学校と連携して子ども読書リーダーを育成する。 	通 年

(11) 分館運営

分館では、生活に密着した情報、趣味、娯楽、読み物等の一般図書、児童図書を中心に資料を収集し、館内での閲覧や貸出を行うほか、おはなし会等の読書普及活動を行っている。

また、総合図書館と分館とのコンピューターネットワークにより資料情報を共有するとともに、資料の貸出や返却がどの図書館でもできるように、毎日連絡車を運行し、物流のネットワーク化を図っている。

主な事業名	内 容	実施時期
おはなし会	乳幼児から小学生を対象として絵本の読み聞かせや紙芝居などを行い、本への親しみと読書の楽しさを伝え、子どもが本とつながる機会を提供する。	通 年
赤ちゃん向けおはなし会	0～3歳児と保護者を対象にわらべうたや絵本の読み聞かせを行い、絵本に親しみ、お話の楽しさを知る機会を提供する。	通 年
企画展示	各分館においてテーマを設定し、テーマに沿った図書の展示やブックリストの配布などを行う。 なお、10月は図書館マンスとし、全館統一テーマを定め、各館・各部門において、サブテーマを設定し、図書の展示等を行う。	毎 月

2 文書資料部門

(1) 公文書等

① 公文書

完結後30年を経過した永年保存文書及び保存期間が満了した文書で歴史的文化的価値があるものを収集、整理、保存、閲覧に供する。

また、完結後20年を経過した永年保存文書で、保管の委託が適当であるものについては、受託する。

- ア 収 集 福岡市の各公文書規程に基づき行う。
- イ 整理・保存 資料保存のための燻蒸処理を行い、件名整理及び閲覧制限項目のチェック完了後、検索性目録の作成とマイクロフィルム撮影を行う。
- ウ 閲 覧 完結後30年を経過した公文書を、文書資料室において原則としてマイクロフィルムにより閲覧に供する。
資料の館外貸出は本市職員に限り許可する。
- エ 展 示 歴史的公文書の展示を行い、市民の公文書への関心を高める。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
公文書資料目録の作成	令和3年度までに収集・整理した公文書の簿冊及び件名目録を検索用として作成するとともに、PDFファイルにてホームページに掲載する。	令和5年3月
歴史的公文書の展示	市の歴史的公文書の整理保存を行っていることの市民への周知を図るとともに、利用の促進を図るため、展示を行う。	令和5年6月
歴史的公文書のデジタルデータ化・情報提供の充実	収集・整理・保存した歴史的公文書等について、ニーズが高いものから、内製によるデジタルデータ化とインターネット配信による情報提供を図書館の既存システムの活用も含め、検討する。	通 年

② 行政資料

主に本市各部局が発行する刊行物等を収集、整理・保存し、文書資料室に配架して閲覧に供する。

また、本市各部局で作成したビデオテープやDVDの閲覧提供を行う。

(2) 古文書資料

古代、中世、近世及び近現代の郷土福岡に関する歴史資料を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、調査・研究を行う。

- ① 収 集 購入、寄贈等による。
- ② 整理・保存 燻蒸処理し、収集資料群毎の詳細調査・整理及び資料の補修等を行い、マイクロフィルム撮影をして、検索性目録（データベース）を作成する。
- ③ 閲 覧 原則としてマイクロフィルムにより閲覧に供する。

主な事業名	内 容	実施時期
古文書学講座	古代・中世・近世・近代の古文書学の基礎を学ぶ講座	令和5年9月 (全4回)
古文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実	収集・整理した古文書資料の目録データを令和3年度に構築した古文書資料収蔵品データベースに追加し、インターネット配信を行う。 既刊（平成7～令和2年度）の紙媒体による古文書資料目録掲載データについても、順次追加配信する。 また、収集・整理した古文書資料の一部をデジタルデータ化し、館内閲覧に供するとともに、データベース登載も検討する。	通 年
古文書資料パネル展示	郷土・特別資料室内において、所蔵している古文書資料を紹介するパネル展示を行う。	通 年

(3) 郷土資料

近世までは筑前国、近代以降は福岡市を中心とする福岡県内の各分野の資料、及び九州・山口各県の地方史誌等を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、調査・研究を行う。

- ① 収 集 購入、寄贈等による。
- ② 整理・保存 収集資料の分類や装備等（必要に応じて燻蒸処理）を行う。
貴重な資料についてはマイクロフィルム撮影を行い、閲覧用の複製本を作成する。
- ③ 閲 覧 郷土・特別資料室に配架して閲覧に供する。
貴重資料については、原則としてマイクロフィルム又は複製本により閲覧に供する。

主な事業名	内 容	実施時期
郷土・特別資料室内展示	郷土福岡に関する展示を実施	通 年

(4) 文学資料

福岡ゆかりの作家等に関する文学資料を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、実行委員会による文学振興事業等を実施する。

① 資料

- ア 収 集 購入、寄贈等による。
- イ 整理・保存 図書等の収集資料の分類や装備等（必要に応じて燻蒸処理）を行う。
- ウ 閲 覧 郷土・特別資料室に配架して閲覧に供する。
貴重資料は、事前申請により職員立会のもと一部公開。
- エ 貸 出 福岡文学スペースに排架して貸出に供する。

② 文学館事業の実施

福岡ゆかりの文学に関する企画展・文学講座等の事業を実施し、市民の文学に関する生涯学習活動を支援する。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
常設展示	総合図書館1階ギャラリーで福岡ゆかりの文学者や文学作品、福岡での様々な文学活動を紹介する。	通 年 (企画展期間中を除く)
企画展	特に企画展では、文学振興事業実行委員会において企画展図録を作成し、販売。	令和5年度中に 1回
定例文学講座 「ももちはま草紙」	気軽に文学に親しんでもらうことを目的とし、文学者に限らず、広く様々な分野で活躍している方による講演会。	5、7、9、11、2 月 (年5回)
文学館倶楽部	福岡市文学館の館報として発行（無料配布）	令和5年10月 令和6年3月 (年2回)
インターネットによる情報提供システムの拡充	インターネットにより福岡ゆかりの文学に関する情報を、画像を含めて体系的に分かりやすく提供する。	随時

(5) レファレンス業務

郷土・特別資料室及び文書資料室（総合図書館2階）において、各資料に関するレファレンスを行う。

(6) 委員会等

- ① 福岡市総合図書館文書資料収集審査委員会
所管する文書資料収集の適正化を図るため、7名の委員により本年度1回開催予定。
- ② 福岡市文学館資料委員会
福岡市文学館資料の充実と有効活用を図るため、8名の委員により本年度1回開催予定。
- ③ 福岡市文学振興事業実行委員会
文学振興事業の企画と円滑な実施運営を図るため、6名の委員により本年度2回開催予定。

3 映像資料部門

(1) 映像資料の収集・保存

主な事業名	内 容	実施時期
映像資料収集事業	(1) アジアフォーカス福岡国際映画祭参加作品 (2) 福岡に関する映画作品 (3) DVD等の映像資料 (4) その他映画関係資料	通 年

(2) 映像資料の調査・研究

国立映画アーカイブをはじめとする国内外の機関・施設と連携し、映画フィルムの収集、保存等について調査・研究を行う。

(3) 映像資料の公開及び展示等

- ① 映像ホール・シネラ(定員 246 席)で上映する。
- ② ミニシアター(定員 50 席)で上映する。
- ③ 映像資料の展示(ポスター展の開催など)を行う。

(4) 映像ホール・シネラの運営等

主に総合図書館と映像ホール・シネラ実行委員会等の共催で実施している。

図書館が収蔵している映画の上映や特別企画展・講演会等を実施することにより、市民の映画やアジアに関する理解が深まることを支援する。

主な事業名	内 容	実施時期
通常上映	図書館が収蔵しているアジア映画等を上映する。	通 年
特別企画事業 アジア映画祭事業	近年話題のアジア映画を上映する。	未 定 (年 1 回)
特別企画事業 シネマテーク事業	日頃福岡で上映されない映画を積極的に取り上げ、俳優・監督などをテーマに特集を組み、多様な映画を紹介する。	通 年
特別企画事業 講演会等	上映する映画に関する講演会等を開催する。	年 数 回

※ 6 月以降の上映事業については、4 月開催のシネラ実行委員会で決定。

(5) 委員会等

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ実行委員会

福岡市総合図書館映像ホール・シネラでの上映会等を開催し、その運営を円滑に行うため、10名の委員により本年度1回開催予定。また上映作品の詳細や広報活動を検討する9名の委員によるプログラム部会を年2回開催。

(6) アジア映画の活用

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
アジア映画等貸与事業	総合図書館で収蔵しているアジア映画等を広く活用するため、令和3年度から貸与を開始。また、公民館等の公的施設での館外上映を実施する。	通 年

4 図書館全体事業

(1) 新ビジョンの推進

項目	内容	実施時期
新ビジョンの推進	① 新ビジョン後期（R1～R5）事業計画のうち、令和4年度取組についての点検評価を行う。 ② 新ビジョン事業計画（令和5年度）の推進。 ③ 次期ビジョンの検討	令和5年8月頃に評価予定

(2) 指定管理者の管理運営業務に係るモニタリング

項目	内容	実施時期
年次評価 （総合図書館）	総合図書館（建物管理等）における指定管理者の令和4年度管理運営業務について評価を行う。	令和5年7月頃に評価予定
年次評価 （東図書館）	東図書館（選書を除く）における指定管理者の令和4年度管理運営業務について評価を行う。	令和5年7月頃に評価予定
年次評価 （早良南図書館）	早良南図書館（選書を除く）における指定管理者の令和4年度管理運営業務について評価を行う。	令和5年7月頃に評価予定

(3) 施設設備の更新

項目	内容	実施時期
総合図書館の施設設備等更新	総合図書館施設について、レストランホール空調更新工事及び全館空調の更新工事の設計を行う。	令和5年度中（時期未定）
博多南図書館の設備更新	博多南地域交流センターの空調設備更新工事に伴う休館に伴い、博多南図書館も令和6年3月から11月（予定）まで休館し、整備等を行う。	令和6年3月～令和6年11月（予定）

(4) やすらぎと交流の場づくり

項目	内容	実施時期
指定管理者企画事業 （総合図書館）	エントランスホールや正面玄関前広場等を活用し、節句祭、納涼祭、冬フェスタ等の季節イベントや、講座・教室等を実施する。	通年

(5) 見学・視察の受け入れ

項目	内容	実施時期
見学・視察の受入	小学校、中学校、高校、各種学校の他、自治体、図書館関連機関等からの要請に対し、受入を行う。	通 年
バックヤードツアー	一般および親子を対象とした図書館の裏側を紹介するツアーを実施する。	令和5年11月～ 令和6年3月

(6) 市民との共働

項目	内容	実施時期
図書館ボランティア	ボランティア活動を通じた市民活動の場を提供する。	通 年
インターンシップ	大学等からの要請に対し、インターンシップの受入を行う。	夏～秋

(7) 職員研修

項目	内容	実施時期
基礎研修	図書館各部門に共通する基本的な知識、ビジネスマナーや接遇、コンプライアンス、ICTリテラシーなどの基礎知識についての研修を実施する。	年6回程度
専門研修	図書館職員として必要な専門知識や技術向上を目指した研修に職員を派遣する。	通 年

(8) 危機管理対策

項目	内容	実施時期
防災基礎研修	防災対策及び消防設備等の基礎知識についての研修を実施する。	令和5年6月頃 (休館日実施)
災害時避難訓練	火事・地震を想定した避難誘導訓練と消火器及び屋内消火栓の実地訓練、AED操作訓練を行う。	令和6年1月頃 (休館日実施)

(9) 財源確保に係る事業

項目	内容	実施時期
駐車場の有料化	休館日や閉館時間帯に駐車場を有料開放するなどして、財源確保を図る。	通 年
ふくおか応援寄付	「ふくおか応援寄付」制度による寄付金により、財源確保を図る。	通 年
新たな財源確保	デジタルサイネージや施設広告などの新たな財源確保を図る。	通 年

5 広報活動

福岡市総合図書館を広く市民に利用してもらうため、各種媒体による広報を行う。

媒体名	内容	発行回	配布先／発行数
図書館要覧	他図書館、行政機関への当館の事業報告を目的とし、図書館各部門や分館の利用状況、事業実績、組織・予算などを掲載。	年1回	福岡市の関係施設・機関、関連図書館等／300部
福岡市総合図書館ホームページ	情報提供を目的とし、利用案内、各種お知らせ、映像資料案内、図書館資料検索などの項目を設けている。	随時更新	
福岡市電子図書館ホームページ	電子書籍の検索・貸出・予約ができるサービスの提供を目的とし、利用案内、各種お知らせなどの項目を設けている。	随時更新	
展示インフォメーション	館内各コーナーでの展示の紹介とともに、カレンダーでの当日イベントを案内、また、イベント・講座の参加者募集内容を掲載している。	月1回	館内配布／200部 (随時追加)
メールマガジン	イベント情報や各部門からのお知らせなどについてメールマガジンを配信。	月1回	メールマガジン登録者
各種ソーシャルメディア (Twitter や Facebook 等)	Twitter や Facebook 等のソーシャルメディアを活用し、新着情報やイベント情報などを配信。	随時配信	SNS登録者
こどもとしょかんニュース	こども図書館の利用拡大、読書普及を目的とし、テーマ別の本や新刊本紹介、おはなし会や展示のお知らせを掲載。	年6回	福岡市関係施設・機関、市内の保育所、幼稚園、小学校等／各回1,000部
モデル児童図書リスト	幼児用、小学1・2年生、小学3・4年生、小学5・6年生の各対象別にお勧めの本を紹介している。	年1回	福岡市関係施設・機関、市内の保育所、幼稚園、小学校等／3,800部
ヤングアダルトブックリスト	中学生・高校生を対象として、読書普及及び図書館の利用拡大を目的に、お勧めの本を紹介する。	不定期	総合図書館等／各回600部
レファレンスだより	レファレンスサービスをアピールすることを目的に、レファレンス事例を主題別、部門毎に紹介している。また、夏休みは小中高生を対象にした特集号を別途発行している。	年12回	福岡市の関係施設・機関、関連図書館等／各回300部

図書の展示	テーマに基づき各コーナーで図書の展示を行うとともに、ホームページに掲載し、図書の紹介を実施している。	毎月	
クンドルニュース	九州国連寄託図書館における国連資料の利用者拡大を目的に、国連資料などを紹介している。	年6回	福岡市の施設・機関、福岡県内公共図書館等／各回700部
シネラニュース	映像ホール・シネラのPRを目的とし、シネラの上映予定、作品内容を掲載。	年11回	福岡市の施設・機関、マスコミ、定期購読者等／各回8,000部
ホームページ「うえぶシネラ」	映像ホール・シネラのPRを目的とし、シネラの上映予定、作品内容を掲載。	月1回	
市政だより	図書館事業の市民への告知を目的とし、シネラ上映案内、おはなし会・講演会などを掲載。	月2回	福岡市内全世帯
文学館倶楽部	福岡市文学館の活動のPRを目的とし、文学館のイベントや講座の事業報告、ゆかりの文学者の情報、都市圏の文学情報などを提供。	年2回	福岡市の施設・機関、福岡県内公共図書館等／各4,000部
文学館ホームページ	福岡市文学館の活動及び収蔵資料のPRを目的とし、文学館のイベントや講座の情報、収蔵資料データベースを提供。	随時更新	
福岡市文学館常設展示解説	1階ギャラリーで開催する、福岡市文学館の常設展示のPRのため、展示内容について紹介。	年1回	総合図書館内のみ／1,000部
福岡市総合図書館古文書資料収蔵品データベース	収集・整理した古文書資料を、資料名や年代などの項目で、インターネット上で検索できるようにしたもの。	随時更新	
古文書だより	古文書資料に関する情報発信を目的とし、新収蔵資料や収蔵資料に関する話題などを掲載している。	年1回	各県の主な公共図書館、文書館、歴史資料館、文学館等、総合図書館内配布/1000部

6 研究活動

図書館において調査・研究を行い、その成果を報告するため、研究紀要を発行する。

媒体名	内容	発行回	配布先／発行数
研究紀要	収蔵資料に関する学術的な調査・研究の成果を報告することを目的に、図書館職員による研究論文、資料紹介、展示報告等を掲載する。	年1回	各県の主な公共図書館、文学館、文書館、歴史資料館等／450部

令和5年度予算及び機構について

報告

1 令和5年度予算

(単位:千円)

歳出	歳入内訳		
	特定財源		一般財源
	地方債	その他	
1,692,459	40,000	44,762	1,607,697

歳出内訳

事 項	令和5年度	令和4年度	増減	※参考 令和3年度(決算)
1 給与費等	318,190	317,357	833	315,413
2 管理運営費	959,760	952,693	7,067	791,129
一般管理費	185,073	185,943	△ 870	176,250
施設管理費	313,547	277,339	36,208	267,044
分館運営費	443,248	470,785	△ 27,537	331,964
映像機器の更新	3,064	3,071	△ 7	-
学校図書館支援センター運営費	6,674	7,071	△ 397	6,876
電子図書館推進事業	8,154	8,484	△ 330	8,995
3 主催事業費	4,040	4,256	△ 216	2,856
講座等経費	795	799	△ 4	387
映像企画事業等経費	512	568	△ 56	522
アジア映画等貸与事業	1,535	1,691	△ 156	1,349
子ども読書活動の推進	1,198	1,198	0	598
4 資料収集経費	131,605	144,243	△ 12,638	128,632
図書購入費	71,850	76,576	△ 4,726	66,328
図書整理費	18,807	24,813	△ 6,006	23,138
文書資料整理等経費	26,759	27,805	△ 1,046	25,659
映像資料収集保存等経費	14,189	15,049	△ 860	13,507
5 図書利用サービス費	184,064	187,709	△ 3,645	184,406
一般利用サービス費	171,901	175,507	△ 3,606	172,431
団体貸出運営費	12,163	12,202	△ 39	11,975
6 国連寄託図書館経費	4,144	4,395	△ 251	4,527
国連寄託図書館運営費	4,144	4,395	△ 251	4,527
7 文学館費	11,136	11,732	△ 596	10,624
文学館管理運営費	9,600	10,196	△ 596	9,576
文学館事業費	1,536	1,536	0	1,048
8 施設整備費	79,520	71,087	8,433	384,001
総合図書館施設整備費	44,297	52,975	△ 8,678	284,140
南図書館整備事業 *1	407	18,112	△ 17,705	2,996
図書館分館整備事業	35,223	-	35,223	96,865
合 計	1,692,459	1,693,472	△ 1,013	1,821,588

*1 南図書館整備事業 R5年度は一般管理費に計上

図書館分館運営費のR3年度は早良南図書館開設準備費

2 機構

令和5年度

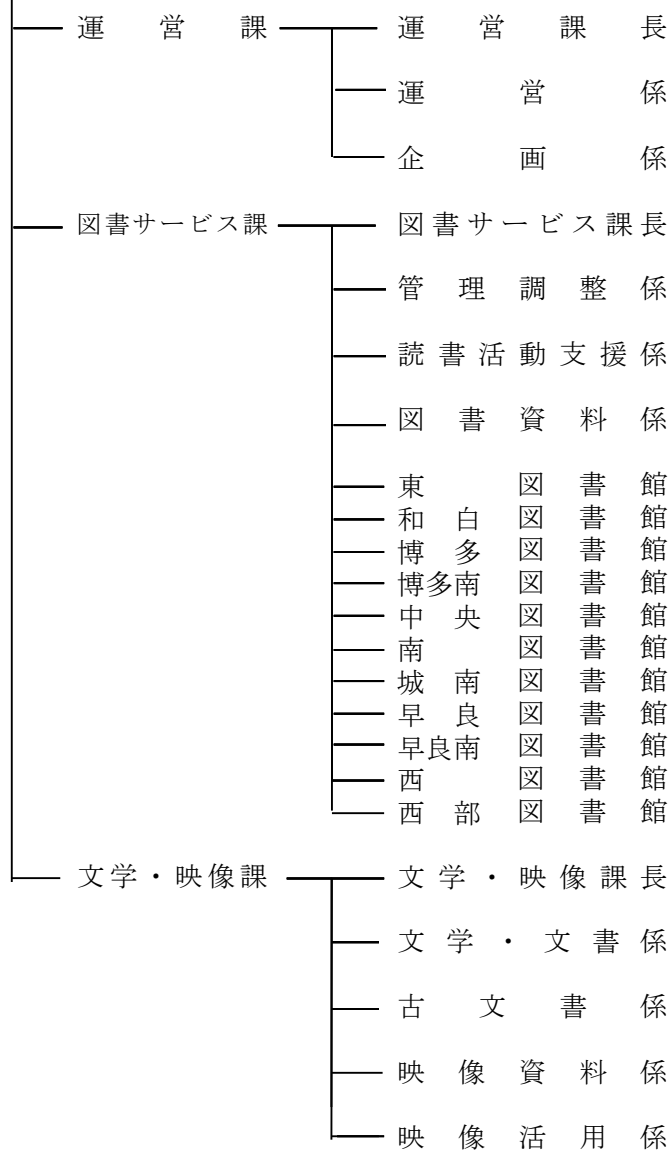
		人員	内 訳	
			職員数	会計年度任用職員数
総 館 長		1	(1)	0
館 長		1	1	0
	運 営 課			0
	— 運 営 課 長	1	1	0
	— 運 営 係	4	3	1
	— 企 画 係	4	3	1
	図 書 サービス 課			
	— 図 書 サービス 課 長	1	1	0
	— 管 理 調 整 係	3	3	0
	— 読 書 活 動 支 援 係	13	[1]	4
	— 図 書 資 料 係	25	3	22
	— 東 函 書 館	0	0	0
	— 和 白 函 書 館	7	[1]	6
	— 博 多 函 書 館	7	[1]	6
	— 博 多 南 函 書 館	7	[1]	6
	— 中 央 函 書 館	8	[1]	7
	— 南 函 書 館	7	[1]	6
	— 城 南 函 書 館	8	[1]	7
	— 早 良 函 書 館	7	[1]	6
	— 早 良 南 函 書 館	0	0	0
	— 西 函 書 館	7	[1]	6
	— 西 部 函 書 館	7	[1]	6
	文 学 ・ 映 像 課			
	— 文 学 ・ 映 像 課 長	1	1	0
	— <u>文 書 資 料 係</u>	7	4	3
	— 古 文 書 係	6	2	4
	— 映 像 係	4	2	2
	— <u>文 化 資 料 活 用 係</u>	6	3	3
	合 計	142	31	100

()は非常勤特別職で外数 1
 []は短時間再任用職員で外数 10

※アンダーラインは令和4年度からの変更箇所

令和4年度

総館長
館長



人員

1
1
1
4
4
1
3
13
25
0
7
7
7
8
7
8
7
0
7
7
1
10
7
4
2
142

内 訳	
職員数	会計年度任用職員数
(1)	0
1	0
	0
1	0
3	1
3	1
1	0
3	0
[1] 4	8
3	22
0	0
[1] 7	6
[1] 7	6
[1] 7	6
[1] 8	7
[1] 7	6
[1] 8	7
[1] 7	6
0	0
[1] 7	6
[1] 7	6
1	0
5	5
3	4
2	2
1	1
31	100

()は非常勤特別職で外数 1
[]は短時間再任用職員で外数 10